

令和2年度使用教科用図書社会答申資料（第2地区）

社会		東書（東京書籍株式会社）
総 評		「いかす」では、既習内容をもとに自分たちの身の周りの問題について考えたり話し合ったりすることや、社会に関心をもつきっかけとなる提案がされており、よりよい社会を児童が主体的に考えられるように配慮されている。 「まとめる」では、様々な立場の人になりきってその視点で社会的事象を説明したり、キャッチコピーを考えたりと、多角的な思考や幅広い表現方法に挑戦できるように配慮されている。 多くのページに働かせるべき「見方・考え方」を示しており、現地の方へのインタビューなどを通して課題追究し解決へ導けるよう配慮されている。 写真資料が少なく、イラストが多すぎる。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「いかす」では、既習内容をもとに自分たちの身の周りの問題について考えたり話し合ったりすることや、社会に関心をもつきっかけとなる提案がされており、よりよい社会を児童が考えられるように配慮されている。①② ○ 「まとめる」では、様々な立場の人になりきってその視点で社会的事象を説明したり、キャッチコピーを考えたりと、多角的な思考や幅広い表現方法に挑戦できるように配慮されている。④
	2 内容の取扱い	○ 多くのページに働かせるべき「見方・考え方」を示しており、課題追究したり解決したりすることについて配慮されている。① ○ 要所に「学び方コーナー」があり、「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・伝える」の観点で学びを手助けする工夫がされている。② ○ 国際編での現地の方へのインタビューが最も多く、現地の方の言葉で様子を知り、自分たちのくらしのようすとの違いや共通点について考えを深められるように配慮されている。③ ○ 各ページに「つかむ」「調べる」「まとめる」の記載があり、児童も指導者も学習の流れやどのようなことを学習すればよいかがつかみやすいよう工夫されている。⑥
	3 外的要素	○ 5、6年生は上下巻2冊に分かれており、持ち運びがしやすくなっている。① ○ 6年生では本文中にある「ことば」に取り上げる言葉をゴシック体の太字にし、ポイントを捉えやすいように配慮されている。② ○ 3年生の「市のようす」では、単元を通して資料の配置を統一しており、児童が前時での学習と関連づけて学習することがしやすき工夫されている。③
	4 構成・配列	○ 発展ページとして「ひろげる」「いかす」があり、総合的な学習の時間などとの横断的な学習がしやすいよう工夫されている。① ○ 「まとめる」項では「まとめの活動にことば（キーワード）を生かそう」という記載があり、重要語句を活用して自分の言葉で話し合ったり書いたりしてまとめていくことができるよう工夫されている。②
	5 資料・その他	○ 6年生の「歴史編」では、年表資料数が多く、学習する時代のできごとを時系列に沿って学習できるように工夫されている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 6年生「政治・国際編」のP24～31の単元のみ、「調べる」の記載の下に問いではなく活動内容が書かれており、統一感に欠ける。③
	2 内容の取扱い	○ 6年生の「歴史編」P128～141に「見方・考え方」のマークが無い。①
	3 外的要素	○ どの「見方・考え方」を使う場面かイラストからイメージしにくい。④
	4 構成・配列	○ イラストが豊富だが、中には写真資料の方が適切なものもある。
	5 資料・その他	○ 発達段階に応じて資料が精選されているため、3、4年生のコラム等資料が少ない。

令和2年度使用教科用図書社会答申資料（第2地区）

社会		教出（教育出版株式会社）
総 評		本文の中に資料が配置されており、資料を確認しながら文章を読んでいたり、文章を読み進めると自然に資料の読み取りを行うことができたりする構成になっており、資料の読み取りを重視している。 「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」に分け、それぞれのページにどの段階かが示されており、単元全体を見通しながら学習をすすめることができるようになっている。 社会的な見方・考え方については、6つ（「時期や変化」「場所や広がり」「比べる」「くふうや関わり」「関連付ける」「総合する」）を取り上げているが、紙面では、キャラクターがセリフを吹き出しで述べているのみで、どの見方・考え方を働かせればよいのかがわかりにくくなっている。 資料の配置場所に統一性がないため、どこから読めばいいのか、分かりにくくなっている。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 本文の中に資料が配置されており、資料を確認しながら文章を読んでいくことができるようになっているため、資料の読取を重視しているといえる。④
	2 内容の取扱い	○ 単元全体を、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」に分け、それぞれのページにどの段階かが示されており、単元全体を見通しながら学習をすすめることができるようになっている。⑥ ○ 資料が豊富にバランスよく記載されており、文章を読み進めていくと自然に資料の読み取りを行う構成になっている。② ○ 資料に触れながら、教科書の本文を読み進めるようなレイアウトになっている。⑤
	3 外的要素	○ キーワードは、太文字で記載されており、分かりやすくなっているため、重要な語句を意識させやすくなっている。②
	4 構成・配列	○ 毎時間、「問い」と「次につなげよう」が記載されていることで、学びに連続性をもたせられるような構成になっている。② ○ 3年生では、「店ではたらく人と仕事」の後に、「工場ではたらく人と仕事」または「農家の仕事」を学習する流れとなっており、子どもたちが身近に触れているものから学習に取り組んでいくという単元の流れになっているため、普段の生活の中で学習したことを活かして学びを進めていくことができる構成・配列になっているといえる。②
	5 資料・その他	○ 写真、グラフ、文書、地図などの資料が偏りなく充実して記載されている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 毎時間、「問い」と「次につなげよう」が記載されていることは、授業構成が固定化される点で指導の際には配慮を要する。 ○ 文章と資料の配置に統一性がないために、文章記述の部分が読みにくくなっている部分がある。③
	2 内容の取扱い	○ 社会的な見方・考え方については、6つ（「時期や変化」「場所や広がり」「比べる」「くふうや関わり」「関連付ける」「総合する」）を取り上げているが、紙面では、キャラクターがセリフを吹き出しで述べているのみで、どの見方・考え方を働かせればよいのかがわかりにくくなっている。①
	3 外的要素	○ 高学年の教科書の重量が重く、児童の負担が大きい。 ○ 丸みを帯びた字体になっており、他教科に比べて違いがあるため、児童が読む際にやや配慮を要する。②
	4 構成・配列	○ 資料の配置場所に統一性がないため、どこから読めばいいのか、分かりにくくなっている。②
	5 資料・その他	○ 「まなびリンク」について、何について検索することができるのかが記載から分かりにくく、活用しにくい。①

令和２年度使用教科用図書社会答申資料（第２地区）

社会		日文（日本文教出版株式会社）
総 評		巻頭に社会科学学習では、何を学ぶかが記載され、学習カードの例や書き方、各単元の学習計画、どんな見方・考え方を働かせるのかが示されており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた配慮がされている。 単元の終末に、話合いの着眼点がキャラクターの話し合っているイラストの吹き出しで示されたり、ノートのとめ方をノート例で示したりして、論理的思考力・判断力・表現力等を育成する際の参考となるように配慮されている。 写真資料が大きく掲載されているが、その分、他の資料の掲示するスペースが少なくなっている。 学習問題が示されているが、それについてどう考えるかの記述が少ない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 巻頭に社会科学学習では、何を学ぶかが、記載されており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた配慮がされている。② ○ 単元の終末に、話合いの着眼点がキャラクターの話し合っているイラストの吹き出しで示されたり、ノートのとめ方をノート例で示したりして、論理的思考力・判断力・表現力等を育成する際の参考となるように配慮されている。④
	2 内容の取扱い	○ 社会科の学習の仕方が示され、「話し合う」が記載されている。③ ○ 話合いで予想される意見、調べたことがわかる意見がキャラクターの吹き出しで囲まれており、見やすい。③ ○ 学習カードの例や書き方が記載されている。② ○ 各単元に学習計画がわかりやすく記載されている。① ○ どんな見方・考え方を働かせるのかが、各単元に示されており、学習のポイントがわかりやすい。① ○ 要所に「学び方・調べ方コーナー」があり、「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の観点で学びを手助けする工夫がされている。②⑤ ○ キャラクターの吹き出しにより、子どもの思考の流れがとらえやすく、問題解決的な学習が展開しやすい工夫がされている。⑥
	3 外的要素	○ 写真資料が大きく見やすい。③ ○ さし絵がたくさん使用されており、特にキャラクターの表情に合わせた「？」「！」などがついており、疑問や気づきを表すなど細かい点まで工夫されている。③ ○ グラフ、地図に色の工夫や斜線やドットなどが使用されており、ユニバーサルデザインの観点で工夫がされている。⑥
	4 構成・配列	○ 写真や資料のレイアウトは、資料と本文との関係が見やすいように配置されている。① ○ 単元の終末のとめるページでは、単元の学習内容や学習問題の答えを話し合う活動がしめされており、対話を通して振り返ることができるように工夫されている。②
	5 資料・その他	○ ６年生の学習でも地図資料が７３点と多く、特に歴史では６０点も掲載されているため、位置や空間的な見方・考え方が大切にされている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 学習の進め方が明示されていないところがあり、指導者が工夫して指導する必要がある。③
	2 内容の取扱い	○ 学習問題が示されているが、それについてどう考えるかの記述が少ない。⑥
	3 外的要素	○ 文字の大きさがやや小さいところがある。②
	4 構成・配列	○ 写真資料が大きく掲載されているが、その分、他の資料の掲示するスペースが少なくなっている。①
	5 資料・その他	○ 地図資料が多いが、３年生では、子どもが読み取る際に難しい資料もある。②